

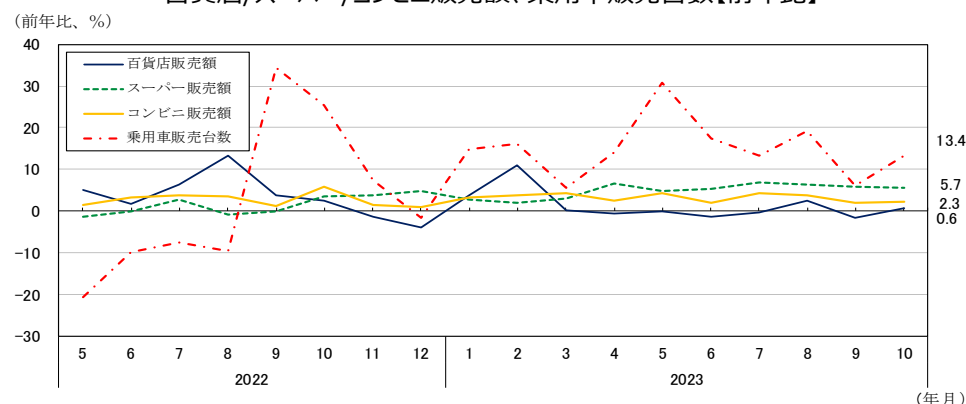
《最近の県内経済》 (2023年10月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。

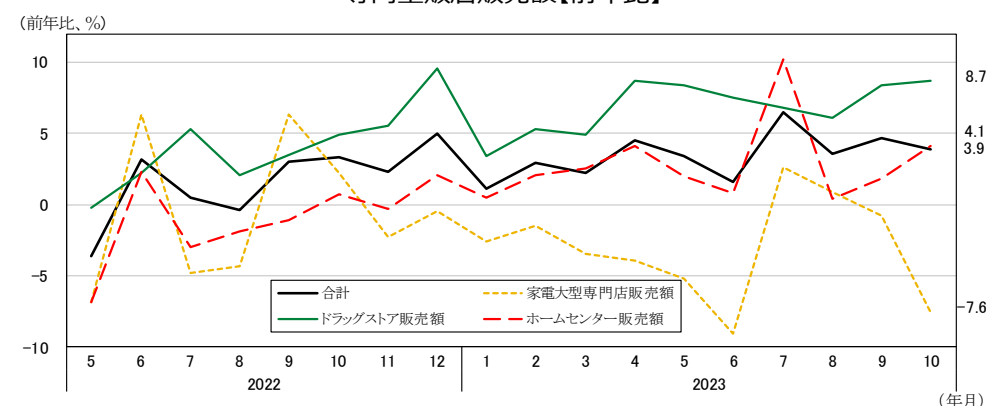
1 個人消費 ～持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

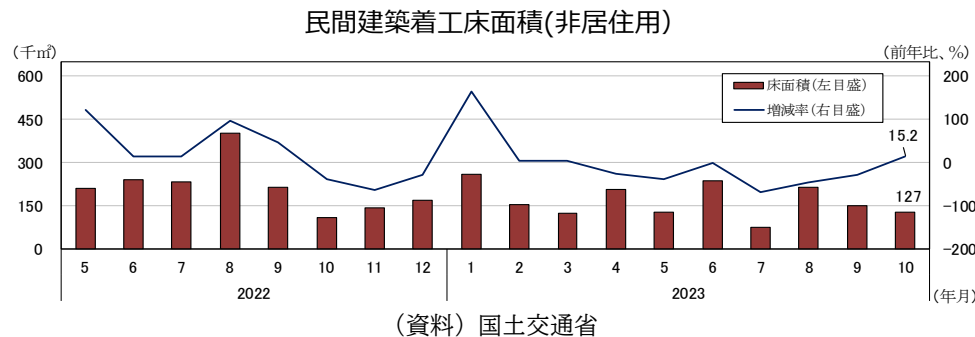
10月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が121億円で前年比0.6%増（2か月ぶりの増加）、スーパーは1,065億円で同5.7%増（13か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は573億円で同2.3%増と24か月連続の増加となった。販売価格上昇による影響は受けているものの、天候に恵まれたこともあり、行楽関連などを中心に好調に推移した。

また、乗用車販売は、前年比13.4%増と10か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同比2.0%減と2か月連続の減少となったものの、普通車が同比34.0%増と10か月連続の増加、軽乗用車が同比5.2%増と6か月連続の増加となった。

9月の専門量販店販売額は、762億円で前年比3.9%増と14か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が155億円で同7.6%減（2か月連続の減少）となったものの、ドラッグストアが423億円で同8.7%増（17か月連続の増加）、ホームセンターが184億円で同4.1%増（11か月連続の増加）とそれぞれ増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、9月〈36.8〉、10月〈36.7〉、11月〈36.6〉と推移している。

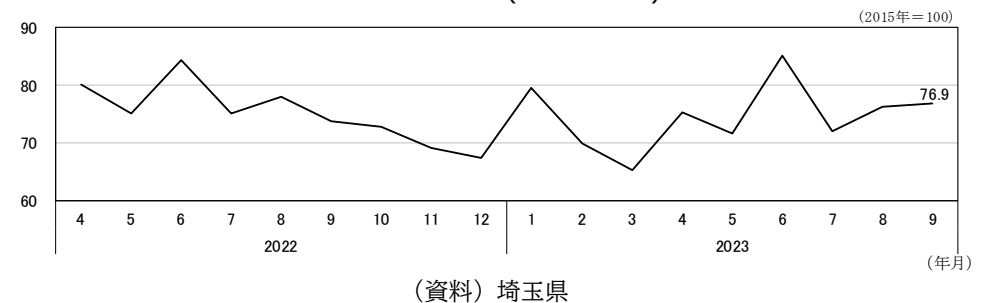
2 設備投資～持ち直している



10月の民間建築着工床面積（非居住用）は、127千㎡で前年比15.2%増と7か月ぶりの増加となった。（5か月後方移動平均では前年比32.8%減）

用途別にみると、店舗、工場及び作業場が減少したものの、事務所、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも増加した。

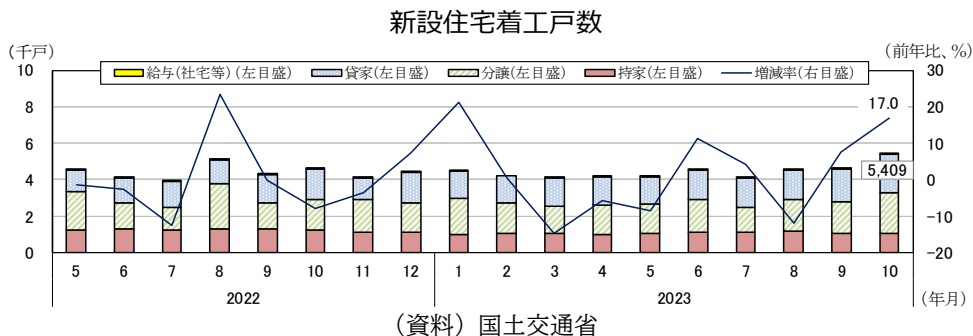
資本財出荷指数(季節調整済)



9月の資本財出荷指数（季節調整済）は76.9で、前月比0.9%増と2か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では、前年比0.3%増）。

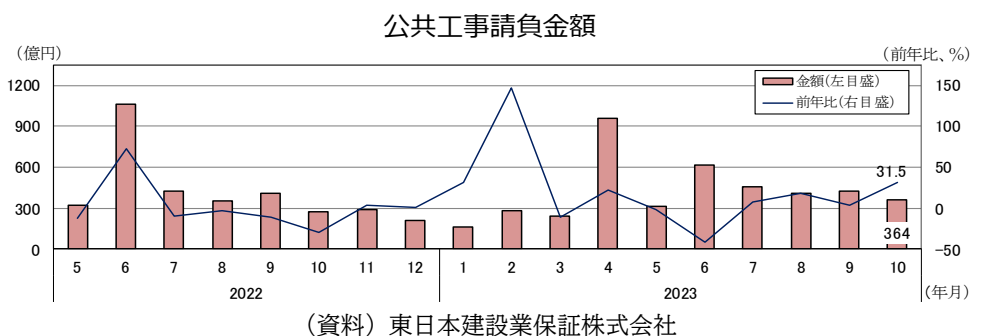
当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）。

3 住宅建設～一進一退



10月の新設住宅着工戸数は、5,409戸で前年比17.0%増と2か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では5.1%増）。利用関係別にみると、持家（1,037戸）が同17.9%減、分譲一戸建て（1,342戸）が2.6%減となったものの、貸家（2,113戸）が24.2%増、分譲マンション（902戸）が229.2%増といずれも増加した。

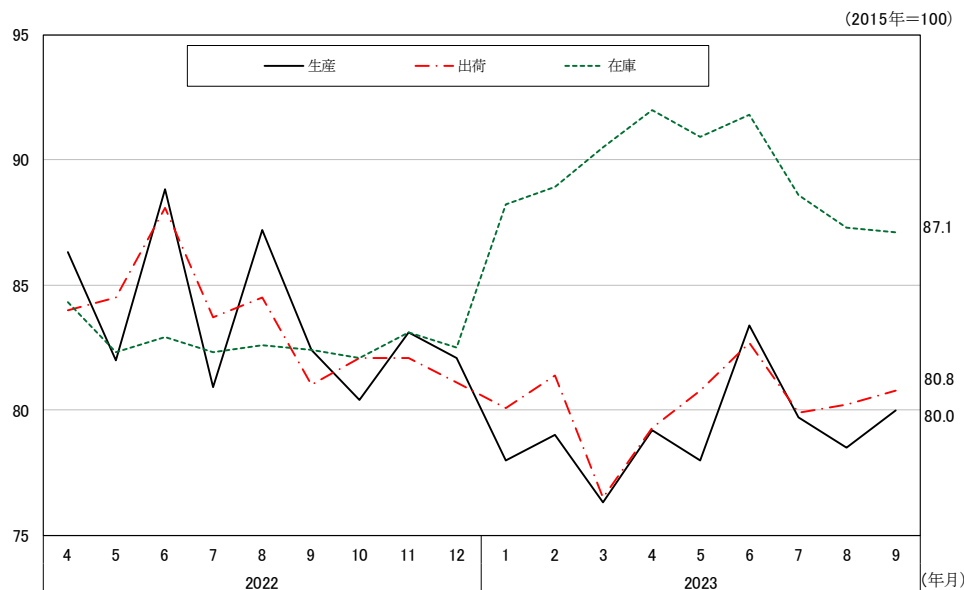
4 公共工事～横ばいとなっている



10月の公共工事請負額は364億円、前年比31.5%増となった（4か月連続の増加）。5か月後方移動平均では前年比9.7%減で推移。発注者別の前年比をみると、都道府県は減少したものの、国、独立行政法人等、市区町村、地方公社はいずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



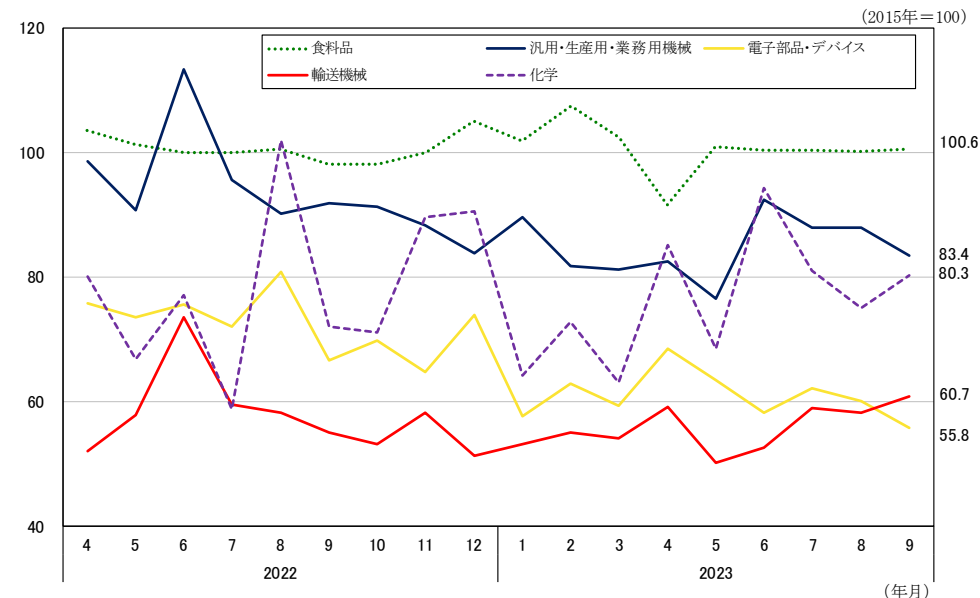
(資料) 埼玉県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、80.0で前月比1.9%上昇した(3か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、整地機械)、電気機械(開閉制御装置、食器洗い乾燥機)などが低下したが、化学(医薬品、合成樹脂塗料)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが上昇した。

出荷指数(同)は、80.8で同0.7%上昇(2か月連続の上昇)。化学(化粧品、印刷インキ)、金属製品(スチール製缶、水門)などが低下したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが上昇した。

在庫指数(同)は、87.1で同0.2%低下した(3か月連続の低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)などが上昇したが、電気機械(食器洗い乾燥機、クッキングヒーター)、電子部品・デバイス(混成集積回路、サーミスタ)などが低下した。

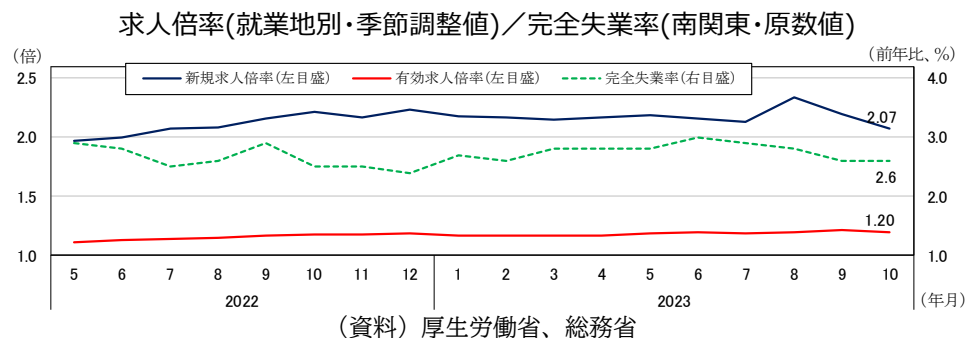
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.6で前月比0.5%上昇、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、83.4で同5.2%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、55.8で同7.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、60.7で同4.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、80.3で同7.1%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

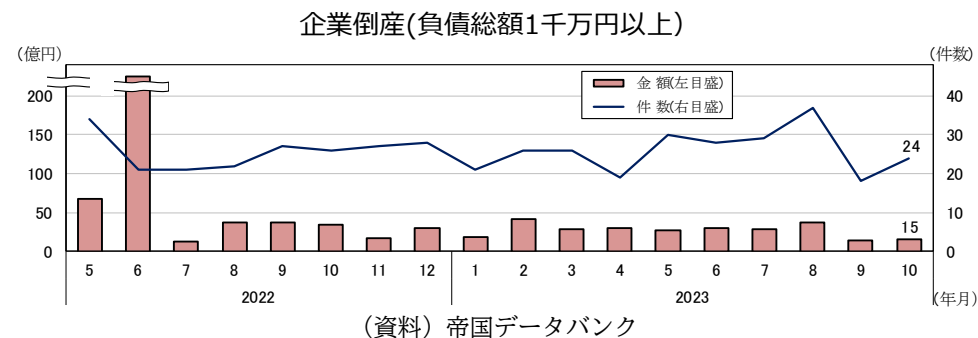
6 雇用情勢～緩やかに持ち直している



10月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.20倍で前月比0.02ポイント低下した(3か月ぶりの低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.07倍で前月比0.13ポイント低下した(2か月連続の低下)。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比2か月ぶりの上昇)。

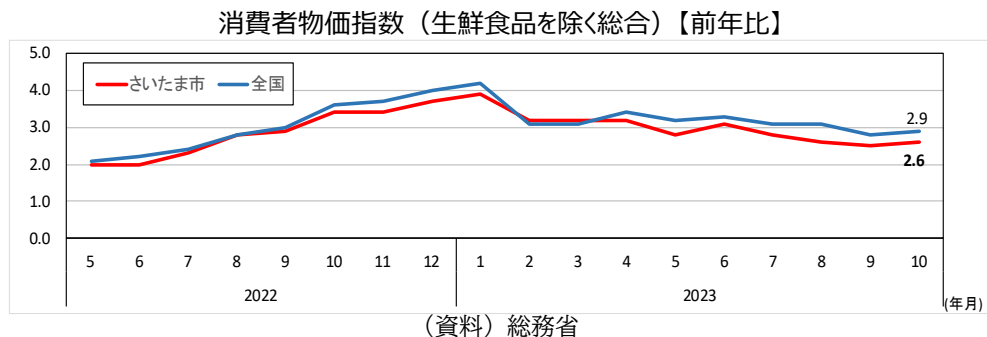
7 企業倒産～増加傾向にある



10月の企業倒産件数は24件で前年同月比2件の減少、負債総額は15億円で同19億円の減少となった。(5か月移動平均では、件数が前年比16.2ポイント増加)

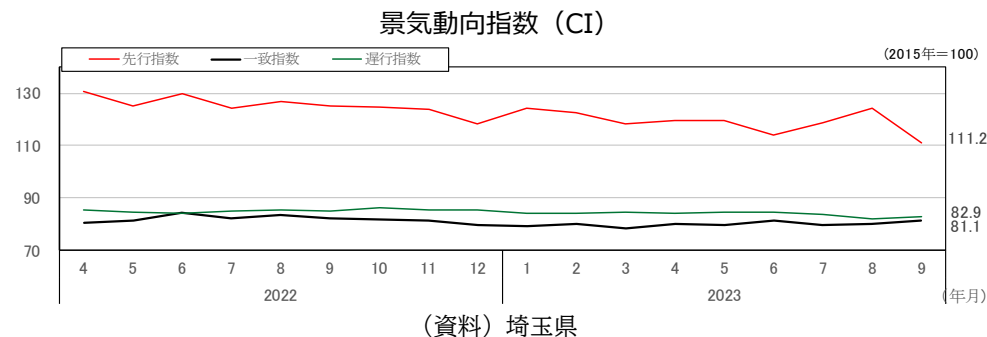
業種別にみると、建設業、小売業、サービス業が最多でそれぞれ5件。次いで製造業が4件と続いている。主因別では、販売不振が20件となっている。

8 消費者物価～上昇率がやや鈍化している



10月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.7で前年同月比2.6%上昇した。食料(調理食品など)や教養・娯楽(宿泊費など)の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～改善を示している



- 9月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、81.1で前月比1.0ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、111.2で同13.3ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、82.9で同1.0ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。